



---

Buddycom コンソール  
ユーザーガイド v1.0.8  
基本操作編

---



## 改訂履歴

日付	バージョン	内容
2019/10/01	1.0.0	製品名称変更
2019/10/30	1.0.1	グループの設定に低ビットレートを追加
2020/7/20	1.0.2	CSV エラーメッセージの修正
2021/4/2	1.0.3	ユーザーの設定に下記を追加 ・メールアドレス ・かんたんログイン ・割り込み権限 グループの設定の双方向通話を通話形式に変更 グループの設定の翻訳に DeepL を追加
2021/7/28	1.0.4	ユーザーの設定の LIVE キャストをライブキャストに変更 グループの設定の動画自動終了をライブキャスト自動終了に変更し、オプション機能に移動 グループの設定の LIVE キャストをライブキャストに変更 グループの設定にライブキャストの保存を追加
2021/11/19	1.0.5	ユーザー使用状況の確認を追加
2021/12/22	1.0.6	セッションタイムアウト 追加
2023/7/25	1.0.7	付録 B グループとユーザー管理の操作上限一覧を追加
2025/5/27	1.0.8	参加できるグループの設定を追加

## 目次

1	はじめに.....	4
2	概要.....	5
2.1	提供機能.....	5
2.2	利用環境.....	6
2.3	セッションタイムアウト.....	6
3	コンソールへのログイン.....	7
4	グループとユーザーの管理.....	8
4.1	階層の管理.....	8
4.1.1	階層の作成.....	8
4.1.2	アクセス権限の設定.....	9
4.1.3	階層の削除.....	11
4.2	ユーザーの管理.....	12
4.2.1	ユーザーの作成.....	12
4.2.2	ユーザーの削除.....	12
4.2.3	ユーザーの編集.....	13
4.2.4	ユーザー使用状況の確認.....	14
4.2.5	ユーザーの強制ログアウト.....	15
4.3	グループの管理.....	16
4.3.1	グループの作成.....	16
4.3.2	グループへユーザーの追加.....	17
4.3.3	グループからのユーザーの削除.....	19
4.4	参加できるグループの設定の管理.....	20
4.4.1	話すグループ（デフォルト）の設定.....	20
4.4.2	必須グループの設定.....	21
4.4.3	セカンドグループ（デフォルト）の設定.....	22

4.5	CSV による管理 .....	23
4.5.1	ユーザーのインポート .....	23
4.5.2	グループのインポート .....	25
4.5.3	参加するグループのインポート .....	25
4.5.4	データのエクスポート .....	25
4.6	オプション設定時の注意事項.....	26
4.6.1	設定が必要なオプション機能.....	26
4.6.2	オプションを利用するために必要な設定.....	26
付録 A	CSV 操作のエラーメッセージ一覧 .....	0
付録 B	グループとユーザー管理の操作上限一覧.....	1

## 1 はじめに

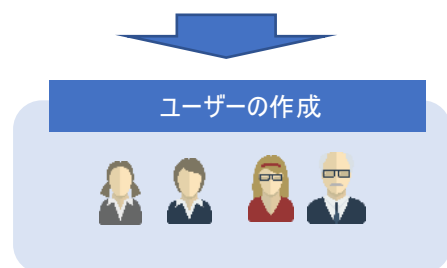
このマニュアルでは、Buddycom を利用するための設定を行う Buddycom コンソールについて説明しています。

**Buddycom をすぐにご利用になりたい方は、以下の手順を参考に設定をしてください。最短で利用できる手順となります。**Buddycom 管理コンソールの機能、使い方について詳しく知りたい方は、「1. 概要」からお読み進めください。



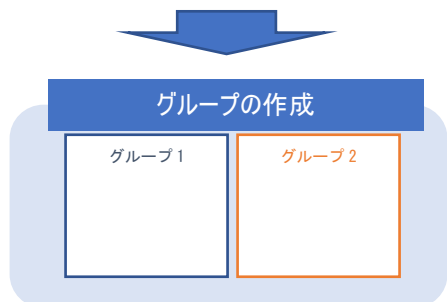
**Step-1** Buddycom コンソールにログインします。

「[Buddycom コンソールへのログイン](#)」を参照してください。



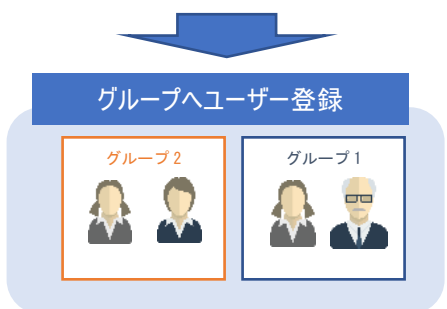
**Step-2** 利用するユーザーを作成します

「ユーザーの管理」の[ユーザーの作成](#) を参照してください。  
※スマートフォンアプリでログインするときに使用するユーザーID とパスワードを設定します。



**Step-3** 通話を行うグループを作成します

「グループの管理」の[グループの作成](#) を参照してください。



**Step-4** 通話に参加するユーザーをグループに登録します

「グループの管理」の[グループへユーザーの追加](#) を参照してください。



**Step-5** スマートフォンにアプリをインストールして、ログインします。

Step-2 で作成したユーザーID とパスワードでログインします。ユーザーID には、Buddycom 管理コンソールのログインで使用したドメイン名を付加します。  
(例: user001@buddycomuser.net)

## 2 概要

### 2.1 提供機能

Buddycom コンソールは、Buddycom の利用環境を管理するためのウェブアプリケーションです。Buddycom コンソールでは以下の機能を提供します。

表 1.1-1 Buddycom コンソールが提供する主な機能

画面	機能	内容
グループ&ユーザー	階層管理	階層は、ユーザーやグループを階層構造で管理するために利用します。ユーザー管理を部署単位に行いたい場合などに階層を作成し、その階層にユーザーを作成します。
	ユーザー管理	Buddycom を利用するユーザーを管理します。Buddycom に接続するためのユーザーID や、発話者/受信者を識別するためのユーザー表示名などを定義することができます。
	グループ管理	グループは、グループ通話を行うユーザーや、グループ通話で利用するオプションを管理するために利用します。グループは、ユーザーの役職や、部門など会話を共有したいユーザーごとに任意の数だけ作成できます。
トーク履歴	通話データの管理	通話データを検索・再生・ダウンロードできます。
動態管理	動態管理	ユーザーの位置情報の表示・記録ができます。
権限管理	ユーザー権限	コンソール、強制呼び出し機能の権限をユーザーに割り当てることができます。
	アプリ機能制限	ユーザーごとに Buddycom の一部機能を制限できます。
キー管理	キー管理	外部アプリケーションとの連携をおこなう際のキーを管理します。
設定	企業間通信	他の企業(テナント)との連携の設定ができます。
	SAML 認証	SAML 認証の設定ができます。
	IP アドレス制限	IP アドレス制限の設定ができます。
	AI・アプリ連携	AI や外部アプリケーションの連携をおこなう際の設定ができます。
	クライアント設定	全ユーザーの設定を一括設定できます。

## 2.2 利用環境

推奨ブラウザ : Chrome(67.0.3396.87)

Microsoft Edge(42.17134.1.0)※左記最新バージョンよりトーク履歴の再生が可能です。

※Internet Explorer では通話履歴の音声再生を行うことができません。

※()以降のバージョンがサポート対象となります。

対応言語 : 日本語 / 英語

## 2.3 セッションタイムアウト

管理コンソールで最後の操作をしてから 30 分間経過すると、ご利用のブラウザとの接続を切断し、その後に新たな操作を行ったタイミングでログイン画面に遷移します。


### 3 コンソールへのログイン

Web ブラウザで Buddycom コンソールの URL にアクセスし、ID とパスワードを入力してログインします。



The image shows the Buddycom Console login page. At the top, there is the Buddycom logo and the word "Console". Below this, there are three input fields: "ログインID" (Login ID) with a user icon, "パスワード" (Password) with a lock icon, and a language dropdown menu currently set to "日本語" (Japanese). A "ログインする" (Login) button is positioned below these fields. At the bottom, there are three links: "まだ登録をしていない方はこちら >" (Click here if you haven't registered yet), "ログインIDを忘れてしまったら >" (Click here if you forgot your login ID), and "パスワードを忘れてしまったら >" (Click here if you forgot your password). A link "Buddycomとは? >" (Click here to learn about Buddycom) is also present.

ログインすると、ユーザー&グループ画面が表示されます。



The image displays the Buddycom Console interface after login. The top navigation bar shows the user "admin@sample". Below it, there are tabs for "階層の作成" (Create hierarchy), "ユーザーの作成" (Create user), and "グループの作成" (Create group). The left sidebar contains a menu with options like "ユーザー & グループ" (Users & Groups), "トーク履歴" (Talk history), "動画管理" (Video management), "権限管理" (Permission management), "キー管理" (Key management), "設定" (Settings), "マニュアル" (Manual), "契約管理" (Contract management), "監査ログ" (Audit log), and "請求情報" (Billing information). The main content area is titled "ユーザー & グループ" and shows a tree structure of the hierarchy. It includes a search bar and a list of users and groups. The list shows a "ROOT-NODE" with sub-items "サンプル" (Sample) and "本社" (Headquarters). Under "本社", there are 10 users (001 / 001 to 010 / 010) and an "admin / admin" user. Below these are three talk groups: "トークグループ01", "トークグループ02", and "トークグループ03". On the right side, there is a help section with instructions on how to manage users and groups, including a note about creating new users and groups.



## 4 グループとユーザーの管理

「グループ&ユーザー」のメニューを選択すると、下記の操作を行えます。

- ✓ 階層の作成  
階層の作成ができます。
- ✓ 階層の編集  
階層を変更できます。
- ✓ ユーザーの作成  
ユーザーの作成ができます。
- ✓ ユーザーの編集  
ユーザー情報の ID やパスワード、オプションなどを変更できます。
- ✓ グループの作成  
グループの作成ができます。
- ✓ グループの編集  
グループ情報の ID やパスワード、オプションなどを変更できます。
- ✓ CSV のインポート作成  
CSV ファイルをインポートしユーザーを一括して登録(追加・編集・削除)できます。  
CSV ファイルをインポートしグループを一括して登録(追加・編集・削除)できます。  
CSV ファイルをインポートしユーザーを一括してグループに登録(追加・編集・削除)できます。
- ✓ CSV ファイルに、ユーザー、グループ、参加できるグループの情報をそれぞれエクスポートできます。

### 4.1 階層の管理

Buddycom 管理コンソールでは、ユーザーや階層をツリー形式の階層構造で管理することができます。ユーザー数が多い場合には、会社の組織構造に合わせて階層を作成すると管理がしやすくなります。

※アプリで通話に利用するグループではありません。

#### <ROOT-NODE について>

ROOT-NODE は、削除、移動、編集できません。

ROOT-NODE に編集権限が設定されているユーザーが管理者となります。(管理者ユーザーは 1 つ以上の設定が必要です。)

#### 4.1.1 階層の作成

新たに作成する階層の親となる階層を選択してから、「階層の作成」ボタンをクリックします。

以下の例では、ROOT-NODE 階層下に人事部グループを作成しています。



グループの作成ウィンドウが表示されたら、グループ ID を入力して、ユーザー選択ツリーからアクセス権限を付与するユーザーを選択して追加し、「保存する」をクリックします。

※一度の操作で追加できるユーザー数は参照できるユーザー、編集できるユーザーそれぞれ 100 ユーザーが上限です。それ以上のユーザーを設定したい場合は、[4.1.2 アクセス権の設定](#)を参考に追加で設定をお願いいたします。



#### <ユーザーの権限について>

- ・参照できるユーザー…設定の閲覧、通話履歴の再生、保存ができます。※設定の編集はできません
- ・編集できるユーザー…設定の編集、通話履歴の再生、保存ができます。

### 4.1.2 アクセス権限の設定

階層を作成後に階層の権限を編集する際は、画面左側のツリーから、対象の階層を選択します。

「参照できるユーザーの追加」、「編集できるユーザーの追加・削除」をクリックし、編集画面を開きます。



ユーザーの追加・編集画面が表示されたら、ユーザー選択のツリーからアクセス権限を付与するユーザーを選択して追加し、「保存する」をクリックします。選択済みのユーザーを削除する場合は、右上の「全て削除」をクリックするか、選択済みのユーザーの右端の削除ボタン(×)をクリックします。

※一度の操作で追加/削除できるユーザー数は参照できるユーザー、編集できるユーザーともに 100 ユーザーが上限です。それ以上のユーザーを編集したい場合は一度「保存する」ボタンを押して保存してから再度編集操作を実行してください。

#### <アクセス権限の設定について>

階層ごとに、その階層の情報を参照、更新可能なユーザーを定義できます。アクセス権限を与えられたユーザーは、Buddycom アプリケーションにログインするときと同じユーザーID / パスワードを使用して管理コンソールにログインして、管理作業を行うことができます。階層に対するアクセス権限は、その直下のオブジェクトに対してのみ有効となります。

※「ROOT-NODE」にて権限を設定していないユーザーに、作成した階層のユーザー権限を設定しても、設定の閲覧や編集は行えません。

#### アクセス権限の設定例(全体管理者と部門管理者を設定)

A ユーザーと、B ユーザーは、ROOT-NODE グループ直下のグループやユーザーを参照できます。※下位の階層にアクセス権限を設定する場合は、その上位の階層に対して参照以上の権限が必要になります。この例では、A と B に人事部へのアクセス権を設定するため、ROOT\_NODE に参照権限を与えています。



Aユーザーと、Bユーザーは、人事部グループに対して、参照権限しか持たないため、情報を参照できますが、更新できません。

※AユーザーとBユーザーが総務部グループのアクセス権を持たない場合は、総務部グループの下位の階層の情報を参照、更新することはできません。



001ユーザーは、人事部グループに対して編集権限を持っているため、人事部グループ直下のすべての情報を更新することができます。

AユーザーとBユーザーは、人事部グループに対して参照権限しか持たないため、情報を参照できますが、更新できません。

#### 4.1.3 階層の削除

画面右のツリーから削除したい階層を選択して、画面右の削除ボタンをクリックします。

階層の直下にオブジェクト(グループまたはユーザー)が設定されている場合は、階層の削除は実行できません。削除する際は、階層直下にオブジェクトがない状態にしてください。



## 4.2 ユーザーの管理

Buddycom アプリケーションにログインするユーザーを管理します。

### 4.2.1 ユーザーの作成

ユーザーの作成を行うグループを選択し、「ユーザーの作成」ボタンをクリックします。

以下の例では、「ROOT-NODE」下にユーザーを作成します。



ユーザーの作成画面に、下記の項目を入力し、「保存する」をクリックします。

- ✓ ユーザーID (必須) ※英字小文字、英字大文字、数字、記号 (!#\$%&'\*+ /=?^\_`{|}~) の 50 文字以内
- ✓ ユーザー表示名 (必須) ※50 文字以内(¥以外の文字を使用できます)
- ✓ パスワード (必須) ※英字大文字、英字小文字、数字の 3 つ混在 8 桁以上
- ✓ 組織名 (任意) ※50 文字以内(¥以外の文字を使用できます)
- ✓ 役職名 (任意) ※50 文字以内(¥以外の文字を使用できます)
- ✓ 電話番号 (任意) ※10 桁または 11 桁の半角数字  
※内線を利用する際は#から始まる番号で入力してください。

- ✓ メールアドレス (任意)
- ✓ かんたんログイン (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ 割り込み権限 (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ マップ通話 (ON/OFF デフォルト OFF)

以下の項目はご契約のライセンスプランに応じて利用できます。

- ✓ 音声テキスト化 (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ 翻訳 (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ 動態管理 (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ ライブキャスト (ON/OFF デフォルト OFF)

### 4.2.2 ユーザーの削除

削除するユーザーをクリックし、画面左側の「削除」からユーザーを削除します。

※ユーザーを削除する際は参加できるグループをすべて削除する必要があります。



※ユーザーを削除後、アプリの通話グループから全員が抜けてから 5 分経つとメンバーリストに反映されます。

#### 4.2.3 ユーザーの編集

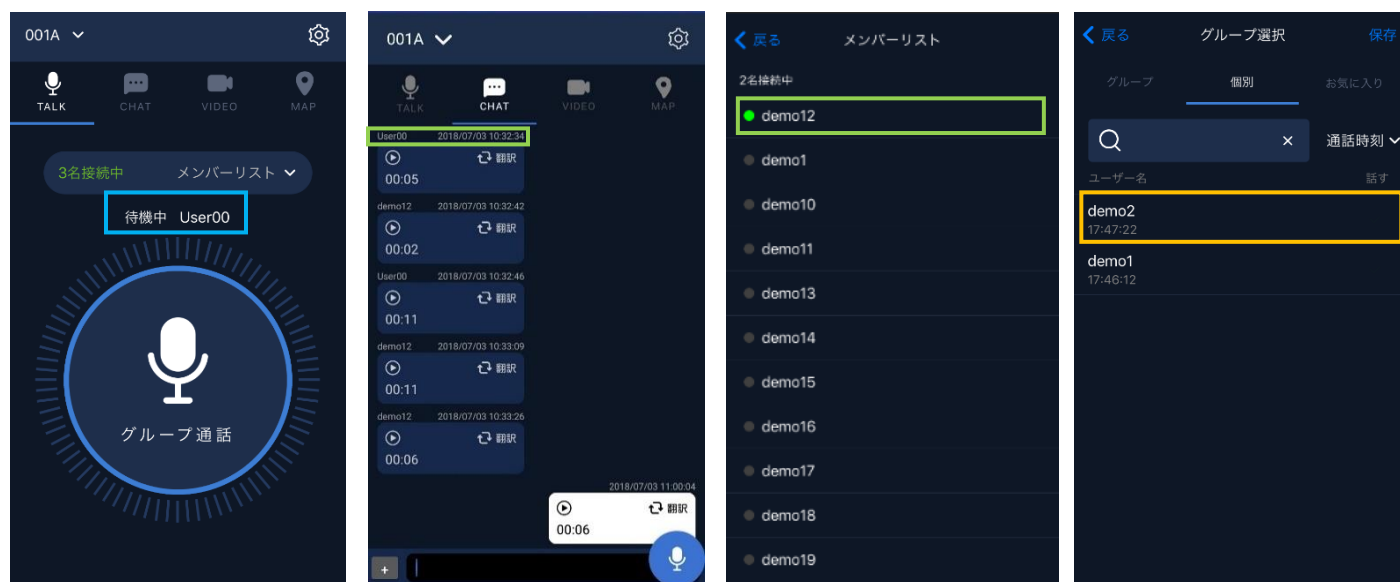
作成したユーザーのユーザー情報を編集します。編集するユーザーを選択し、画面右側の「編集」をクリックします。



ユーザー情報の編集画面の項目を任意で変更し、「保存する」をクリックします。

※管理者ユーザーのユーザーID・パスワードを変更すると、コンソールのログイン ID・パスワードも同様に変更されますのでご注意ください。

#### <Buddycom アプリへの反映>



  ユーザー表示名を変更したユーザー→当該ユーザーが「聞く」グループを追加した時、または「話す」グループを切り替えた時、またはアプリの再起動

  メンバーリストの表示名、CHAT 画面の表示名→変更後画面を開いた際に反映

  グループの選択画面の個別通話のユーザー表示名→アプリの再起動

#### 4.2.4 ユーザー使用状況の確認

ユーザーのログイン状態を確認できます。

#### 使用状況の見方について

##### 使用状況

表示	説明
使用中	クライアント(Buddycom アプリ)でログイン中、または管理コンソールでトークン生成済みの状態です。
未使用	クライアント(Buddycom アプリ)で未ログイン/ログアウト済み、または管理コンソールで強制ログアウト/トークン未生成の状態です。

##### 使用開始時刻

表示	説明
–	使用状況が「未使用」の状態です。
yyyy/mm/dd hh:mm:ss	クライアント(Buddycom アプリ)にログインをした、または管理コンソールでトークンを生成した時刻です。
機能提供前の時刻のため確認できません	クライアント(Buddycom アプリ)にログインをした、または管理コンソールでトークンを生成した時刻が、機能提供前の時刻のため確認できません。

#### ※「使用状況」の判定について

- ・ユーザーが Buddycom アプリにログインしている場合 → 使用中
- ・ユーザーが Buddycom アプリにログインしていない場合 → 未使用
- ・ユーザーが Buddycom アプリにログインした後にログアウトした場合 → 未使用
- ・ユーザーが Buddycom アプリにログイン後、ログアウトせずにアプリをアンインストールした場合 → 使用中

#### 4.2.5 ユーザーの強制ログアウト

アプリにログイン中のユーザーを管理コンソールから強制的にログアウトすることができます。

ユーザー & グループ画面にて、ログアウトしたいユーザーを選択し、ユーザー情報の「強制ログアウト」をクリックします。

The screenshot shows the Buddycom Console interface. On the left is a sidebar with navigation options like 'トーク履歴', '動態管理', '権限管理', etc. The main area is titled 'ユーザー & グループ'. It has tabs for '現在の作成', 'ユーザーの作成', and 'グループの作成'. Below these is a list of users under 'ROOT-NODE' and '本社'. User '001 / 001' is selected. On the right, there's a 'ユーザー情報' (User Information) panel. At the top of this panel, there are buttons: 'トークン生成', '強制ログアウト' (highlighted with a red box), '削除', '移動', and '編集'. Below these are fields for user details: 'ユーザーID' (001), 'ユーザー表示名' (001), '組織名', '役職名', '電話番号', 'メールアドレス' (sample@science-arts.com), 'かんたんログイン' (利用中), '割り込み権限' (なし), 'マップ通話' (利用中), '音声テキスト化' (利用中), '翻訳' (利用中), '動態管理' (利用中), 'ライブキャスト' (利用中), '詳細情報', '使用状況' (使用中), and '使用開始時刻' (2021/11/17 17:00:38).

ユーザーの強制ログアウト画面の「OK」をクリックすると、アプリからユーザーがログアウトされます。

The screenshot shows the same console interface as before, but with a modal dialog box in the center. The dialog is titled 'ユーザの強制ログアウト' (Force Logout of User). It contains the text: '001を強制ログアウトします。この操作は取り消しできません。よろしいですか?' (Force logout of 001. This operation cannot be canceled. Is it okay?). At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' (highlighted with a red box).



## 4.3 グループの管理

アプリにてユーザーが通話するためのグループです。このグループに追加したユーザーで通話を行います。グループに追加するユーザー数に上限はありません。

### 4.3.1 グループの作成

作成するグループの親となる階層を選択してから、「グループの作成」ボタンをクリックします。

以下の例では、「ROOT-NODE」下にグループを作成します。



グループの作成画面に、下記の項目を入力し、「保存する」をクリックします。

グループの作成

グループID

グループ表示名

音声データの保存 ☐ 保存する

データの保存先

通話自動終了 (秒)

動画自動終了 (秒)

通話形式

かんたんログイン ☐

低ビットレートモード ☐

位置情報 ☐

マップ通話 ☐

オプション機能

音声テキスト化

翻訳

LIVEキャスト ☐

キャンセル 保存する

- ✓ グループ ID (必須) ※ 50 文字以内(¥以外の文字を使用できます)
- ✓ グループ表示名 (必須) ※50 文字以内(¥以外の文字を使用できます)
- ✓ 音声データの保存(必須)※音声データの保存の有無
- ✓ データの保存先 (デフォルト以外の利用には AI・アプリ連携の設定が必要です)
- ✓ 通話自動終了 (任意 デフォルト 60 最大値 3,600 ※1 時間)  
※設定した時間(秒)で通話が自動終了します。
- ✓ 通話形式 (単方向通話/双方向通話/割り込み通話  
デフォルト 単方向通話)
- ✓ かんたんログイン (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ 低ビットレートモード (ON/OFF デフォルト OFF)  
※音質を下げてデータ転送量を削減します。
- ✓ 位置情報 (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ マップ通話 (ON/OFF デフォルト OFF)

以下の項目はご契約のライセンスプランに応じて利用できます。

- ✓ 音声テキスト化 (利用しない/オート/AmiVoice/Azure デフォルト 利用しない)
- ✓ 翻訳 (利用しない/Google/Azure/DeepL デフォルト 利用しない)
- ✓ ライブキャスト (ON/OFF デフォルト OFF)
- ✓ ライブキャストの保存 (保存する/保存しない デフォルト 保存する)
- ✓ ライブキャスト自動終了 (任意 デフォルト 60 最大値 3,600 ※1 時間)  
※設定した時間(秒)で動画の配信が自動終了します。

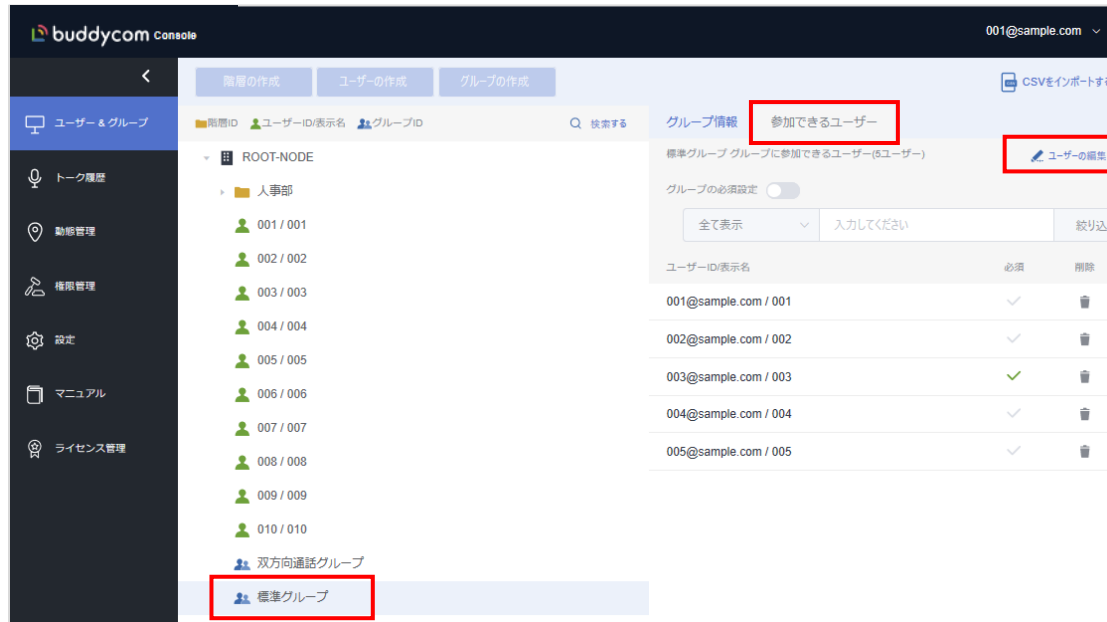
※オプション機能(音声テキスト化・翻訳)を設定したグループには、オプション機能を設定したユーザーのみ追加することができます。

※位置情報とマップ通話はコンソールにて設定後、アプリにて「グループ切り替え」「再ログイン」「再起動」のいずれかの操作を行うことで反映されます。(位置情報を OFF にした際は、グループから全ユーザーが抜けて 5 分経つと位置情報がリセットされます。)

#### 4.3.2 グループへユーザーの追加

※アプリのメンバーリストには、追加したユーザーがグループに参加することで表示されます。

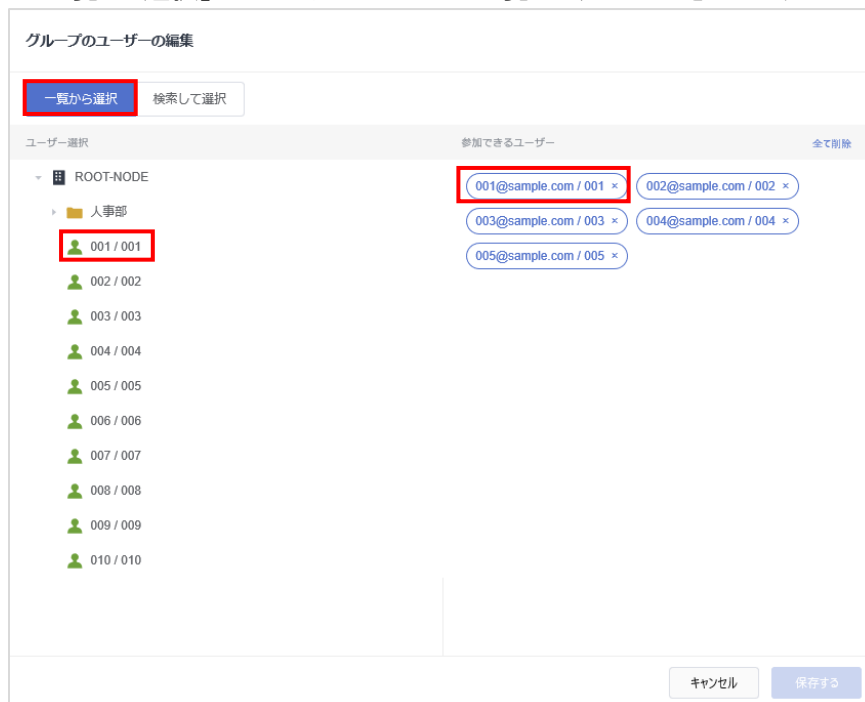
ユーザーを追加したいグループを選択し、「参加できるユーザー」タブを開き、「ユーザーの追加」または「ユーザーの編集」をクリックします。



グループのユーザーの編集画面が表示されます。

画面左側「ユーザー選択」からユーザーを選択すると、画面右側「追加・更新するユーザー」にユーザーが追加され、「保存する」をクリックするとグループへユーザーの追加が実行されます。

「一覧から選択」…グループ内のユーザー一覧から、ユーザーをクリックすることでグループにユーザーを追加できます。



一回の操作には上限があります。  
詳細は「[付録 B グループとユーザー管理の操作上限一覧](#)」をご参照ください。

「検索して追加」…ユーザーID・表示名・組織名・役職名を選択し、入力したキーワードの検索結果から、ユーザーをグループに追加できます。

グループのユーザーの編集

一覧から選択 **検索して追加**

ユーザーID  検索する

ユーザー選択

001 / 001  
002 / 002  
003 / 003  
004 / 004  
005 / 005  
006 / 006  
007 / 007  
008 / 008  
009 / 009

ユーザーID  
ユーザー表示名  
組織名  
役職名  
電話番号

検索するユーザー

@sample.com / 001 × 002@sample.com / 002 ×  
@sample.com / 003 × 004@sample.com / 004 ×  
@sample.com / 005 ×

全て削除

キャンセル 保存する

ユーザー情報に規則性を持たせる等の工夫することで、検索結果を「全て選択」し一括でグループに参加できるユーザーを追加することができます。

グループのユーザーの編集

一覧から選択 **検索して追加**

ユーザーID  検索する

ユーザー選択 **全て選択**

001 / 001  
002 / 002  
003 / 003  
004 / 004  
005 / 005  
006 / 006  
007 / 007

参加できるユーザー

001@sample.com / 001 × 002@sample.com / 002 ×  
003@sample.com / 003 × 004@sample.com / 004 ×  
005@sample.com / 005 ×

全て削除

キャンセル 保存する

#### 4.3.3 グループからのユーザーの削除

グループからユーザーを削除する方法は3つあり、いずれの手順も利用できます。

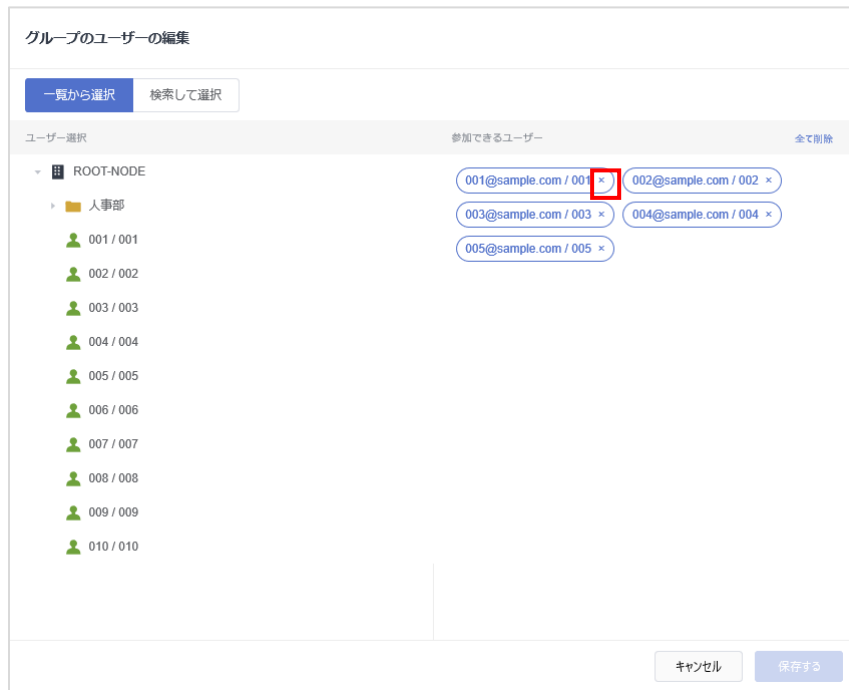
##### ① グループのユーザー編集画面から削除する方法

グループのユーザーの編集画面を表示します。

「追加・更新するユーザー」で削除したいユーザーの「×」をクリックしグループから削除します。


「全て削除」をクリックするとグループから全ユーザーが削除されます。

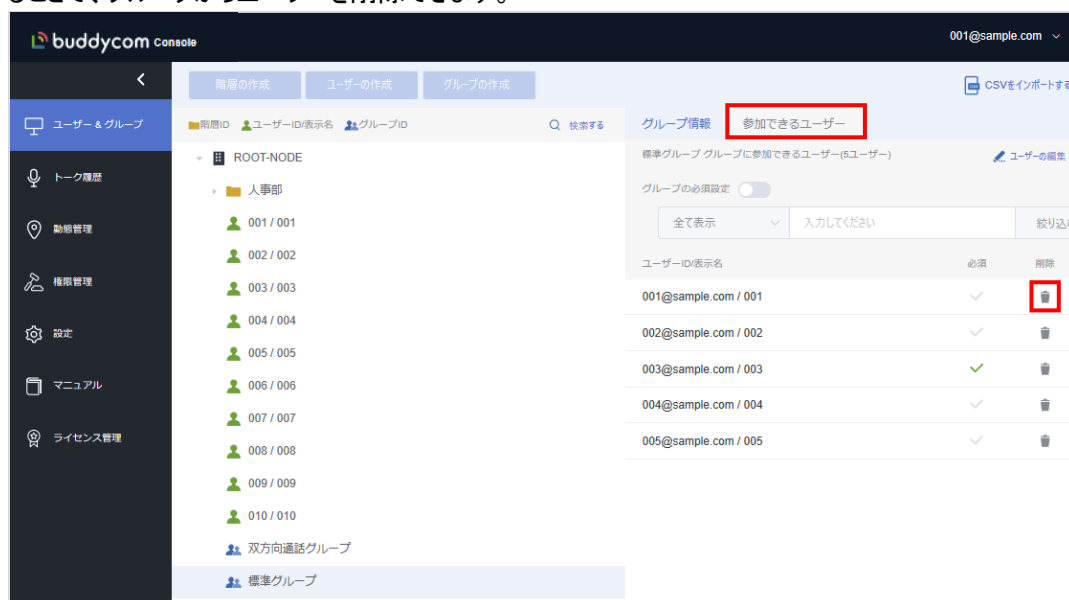
ユーザーを削除してから、「保存する」をクリックすると、グループからユーザーの削除が実行されます。




一回の操作には上限があります。  
詳細は「[付録 B グループとユーザー管理の操作上限一覧](#)」をご参照ください。

##### ② グループ編集画面から削除する方法

グループを選択し、「参加できるユーザー」タブを開きます、ユーザー情報の右端にある削除(「」)ボタンをクリックすることで、グループからユーザーを削除できます。



### ③ ユーザー編集画面から削除する方法

ユーザーを選択し、「参加できるグループ」タブを開き、グループ情報の右端にある削除(「」)ボタンをクリックすることで、グループからユーザーを削除できます。



※グループからユーザーを削除後、アプリの通話グループから全員が抜けてから 5 分経つとメンバーリストに反映されます。

## 4.4 参加できるグループの設定の管理

ユーザーの「参加できるグループ」またはグループの「参加できるユーザー」画面から、参加できるグループの設定を変更できます。

### 4.4.1 話すグループ（デフォルト）の設定

「話すグループ(デフォルト)」に設定されたグループは、アプリケーションにログインした直後に通話先として選択されるグループとなります。以下の手順で設定してください。

(1) ユーザーをクリックして、ユーザー情報を表示します。

(2) 「参加できるグループ」タブのデフォルトの「✓」をクリックして、「話すグループ(デフォルト)」としたいグループを選択します。



#### 4.4.2 必須グループの設定

参加できるグループで、「必須」の設定が有効になっている場合、そのグループの音声を常に「聞く」状態になります。

※「必須」が設定されているグループの、「聞く」状態は Buddycom アプリでは解除できません。他のグループでの通話、または個別通話をしている場合にも「必須」グループの通話を受信します。

「必須」グループの設定は、以下のいずれかの手順で行ってください。「必須」設定できるグループは、1 ユーザーにつき 8 グループです。

##### <ユーザーの設定から変更>

- (1) ユーザーをクリックして、ユーザー情報を表示します。
- (2) 「参加できるグループ」タブの必須の「✓」をクリックし、必須にしたいグループを選択します。



##### <グループの設定から変更>

- (1) グループをクリックしてグループ情報を表示します。
- (2) 「グループの必須設定」を ON にして、グループに参加しているすべてのユーザーの必須設定を有効にします。



「必須」として設定されたグループは、Buddycom アプリの「通話先の選択」画面で、グレーで表示され「聞く」状態の解除はできません。



##### <グループの設定例>

標準グループ: 通話先設定  
双方向通話グループ: 必須グループ設定(受信のみ)  
標準グループ 2: マルチトークグループ設定(受信のみ)  
標準グループ 3: 設定なし

#### 4.4.3 セカンドグループ（デフォルト）の設定

「セカンドグループ(デフォルト)」に設定されたグループは、アプリケーションにログインした直後にセカンドグループとして選択されるグループとなります。

セカンドグループに設定を行うことで「話す」グループとは異なるグループに発話ができます。セカンドグループについて、詳しくは別紙「Buddycom ユーザーガイド」をご参照ください。

[https://buddycom.net/wp-content/uploads/2025/04/Buddycom\\_app\\_Guide.pdf#page=26&zoom=100,92,96](https://buddycom.net/wp-content/uploads/2025/04/Buddycom_app_Guide.pdf#page=26&zoom=100,92,96)

(1) ユーザーをクリックして、ユーザー情報を表示します。

(2) 「参加できるグループ」タブのセカンドグループ（デフォルト）の「✓」をクリックして、「セカンドグループ（デフォルト）」としたいグループを選択します。



## 4.5 CSV による管理

※Excel で CSV ファイルを編集して保存する場合、Excel2016 の October Update 以降のバージョンが必要になります。(名前を付けて保存で、ファイルの種類として「CSV UTF-8」が表示されるバージョンです。)

旧バージョンの Excel では、CSV で保存する場合、文字コードが Shift-JIS で保存されるため、日本語のデータが正しくインポートできなくなります。

管理するユーザーやグループが多い場合、CSV ファイルをアップロードすることで、一括処理ができます。インポートする場合は、必ず CSV のテンプレートをダウンロードして利用してください。

画面左部、「グループ&ユーザー」をクリックして、「グループ&ユーザー」画面を開きます。画面右上の「CSV をインポートする」をクリックします。



※CSV インポート中は、下記の操作を行うことができません。

- ・階層…削除、移動、編集
- ・ユーザー…削除、移動、編集、ユーザーへのグループの追加
- ・グループ…削除、移動、編集、グループへのユーザーの追加

※一回の操作には上限があります。

詳細は「[付録 B グループとユーザー管理の操作上限一覧](#)」をご参照ください。

### 4.5.1 ユーザーのインポート

CSV インポートのユーザーのインポート画面から CSV ファイルのテンプレートをダウンロードします。

CSVのインポート

ユーザー

グループ

参加できるグループ

管理するユーザーやグループが多い場合、CSV ファイルをアップロードすることで、一括処理ができます。インポートする場合は、必ず下記のCSVテンプレートをダウンロードして利用してください。

CSVファイルのテンプレート (バージョン4.0) をダウンロード、または現在の設定をエクスポート

ダウンロードする

エクスポートする

インポートするCSVファイルの選択

ひとつでもエラーがあると、インポートは完了しません。

選択する

最新版のテンプレートファイルを選択してください。

CSVファイルの作成例(ユーザーの追加・編集・削除・移動)

	コマンド	階層ID	ユーザーID	ユーザー表示名	パスワード	組織名	役職名	電話番号	音声テキスト化	翻訳	勤怠管理
1	INSERT	ROOT-NODE	User010	ユーザー010	Pass1234	人事部	マネージャー		YES	NO	YES
2	INSERT	ROOT-NODE	User011	ユーザー011	Pass1234			0356516120	NO	NO	YES
3	MOVE	Level1	User012	-	-	-	-	-	-	-	-
4	UPDATE	-	User013	Testユーザー			#N/A	09011112222	YES	YES	YES
5	DELETE	-	User014	-	-	-	-	-	-	-	-

※ UPDATE, DELETE, MOVEコマンドの場合 - の欄は入力不要です。

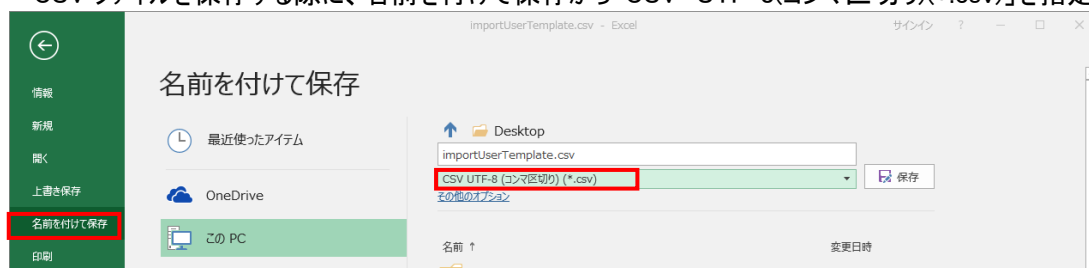
キャンセル

CSVをインポートする



ダウンロードした「CSV ファイルのテンプレート」に管理するユーザーの情報を記入します。記入方法はテンプレート内の説明をご参照ください。※テンプレートのバージョンが最新であることを確認してください。

CSV ファイルを保存する際に、名前を付けて保存から「CSV UTF-8(コンマ区切り)(\* .csv)」を指定してください。



「選択する」をクリックし、ユーザー情報を書き込んだ CSV ファイルを選択します。



インポートに成功すると画面右に、処理完了のポップアップが表示され、インポートしたユーザー情報が画面に反映されます。インポートでエラーが発生した場合は、エラー情報を表示して内容を確認(付録 A 参照)してください。



#### 4.5.2 グループのインポート

CSVインポートのグループ画面を選択し、CSV ファイルのダウンロード、編集、インポートを行います。  
操作手順は、ユーザーのインポートをご参照ください。

#### 4.5.3 参加するグループのインポート

CSVインポートの参加するグループ画面を選択し、CSV ファイルのダウンロード、編集、インポートを行います。  
操作手順は、ユーザーのインポートをご参照ください。

#### 4.5.4 データのエクスポート

現在の設定データ(ユーザー、グループ、参加できるグループ)をCSVファイルにエクスポートします。  
※エクスポートはコンソール権限のテナント管理にて権限を設定しているユーザーのみ実行することができます。(設定方法は、「Buddycom コンソール ユーザーガイド 権限管理編」をご参照ください。)

CSVのインポート画面のタブでエクスポートしたい情報を選択して、「エクスポートする」をクリックします。

CSVのインポート

ユーザー

グループ

参加できるグループ

管理するユーザーやグループが多い場合、CSVファイルをアップロードすることで、一括処理ができます。  
インポートする場合は、必ず下記のCSVテンプレートをダウンロードして利用してください。

CSVファイルのテンプレート (バージョン4.0) をダウンロード、または現在の設定をエクスポート

ダウンロードする

エクスポートする

インポートするCSVファイルの選択

ひとつでもエラーがあると、インポートは完了しません。

選択する

最新版のテンプレートファイルを選択してください。

CSVファイルの作成例(ユーザーの追加・編集・削除・移動)

	コマンド	階層ID	ユーザーID	ユーザー表示名	パスワード	組織名	役職名	電話番号	音声テキスト化	翻訳	勤怠管理
1	INSERT	ROOT-NODE	User010	ユーザー010	Pass1234	人事部	マネージャー		YES	NO	YES
2	INSERT	ROOT-NODE	User011	ユーザー011	Pass1234			0356516120	NO	NO	YES
3	MOVE	Level1	User012	-	-	-	-	-	-	-	-
4	UPDATE	-	User013	Testユーザー			#N/A	09011112222	YES	YES	YES
5	DELETE	-	User014	-	-	-	-	-	-	-	-

※ UPDATE, DELETE, MOVEコマンドの場合 - の欄は入力不要です。

キャンセル

CSVをインポートする

## 4.6 オプション設定時の注意事項

オプション機能は、ユーザー、グループの設定、および、アプリの設定が正しく設定されていなければ利用することができません。

### 4.6.1 設定が必要なオプション機能

以下のオプション機能を利用するには、Buddycom コンソールとアプリでの設定が必要です。

- ✓ 音声テキスト化…通話音声テキスト化します。
- ✓ 翻訳…通話音声を翻訳します。
- ✓ 動態管理…コンソールの動態管理画面にてユーザーの指定した時刻の位置情報の履歴を表示します。
- ✓ ライブキャスト…アプリにて通話グループ内に動画配信を行うことができますようになります。

※各オプション機能の詳細は、「Buddycom\_ユーザーガイド」または「Buddycom」サイトの「機能」(<https://www.buddycom.net/function.html>)をご参照ください。

### 4.6.2 オプションを利用するために必要な設定

各オプションを利用するために必要な設定については、以下の表をご参照ください。

オプション	ユーザー設定※ <sup>1</sup>	グループ設定※ <sup>2</sup>	その他設定
音声テキスト化	・音声テキスト化	・音声テキスト化	—
翻訳	・音声テキスト化 ・翻訳	・音声テキスト化 ・翻訳	アプリの設定:「言語」にて使用する言語を選択
動態管理	・動態管理	—	アプリの設定: マップの「位置情報の取得」をオン
ライブキャスト	・LIVE キャスト	・LIVE キャスト	端末の設定にて「カメラ」権限をオン

※<sup>1</sup> ユーザー作成時、またはユーザー編集にてオプションを設定してください。

※<sup>2</sup> グループ作成時、またはグループ編集にてオプションを設定してください。

付録 A CSV 操作のエラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	意味
パラメタエラー	コマンド名が間違っています
アクセス権なし	書き込み権限がありません
ID 重複	オブジェクト(ユーザー/グループ)作成時に ID が重複しています
階層 ID 不正	ユーザー/グループ作成コマンドで指定された階層 ID が見つかりません
ユーザーID 不正	ユーザーID が指定されていません or 指定されたユーザーID が見つかりません
グループ ID 不正	グループ ID が指定されていません or 指定されたグループ ID が見つかりません
パスワード不正	指定したパスワードの形式が間違っています(英大文字、小文字、数字を含む8文字以上)
オプション不正	オプションの設定が間違っています or オプション付きのグループにユーザーを追加する際にオプション設定がないユーザーは追加できません
ライセンス不正	ユーザーライセンスが不足しています
オプションライセンス不正	ユーザー作成/変更で指定したオプションのライセンスが不足しています
表示名不正	オブジェクト(ユーザー/グループ)表示名が指定されていません
グループオプションとの不整合	オプションが設定されているグループがあるため、ユーザーのオプションをオフにできません
コマンド数超過で処理打ち切り	ユーザー: コマンドごとに、購入済みのユーザー数まで実行できます グループ: WEB 決済で購入した場合は、コマンドごとに最大 100 グループまで実行できます 参加するグループ: コマンドごとに、購入済みのユーザー数まで実行できます
利用可能グループ数超過	利用可能なグループ数以上のグループを作成しようとした または、ADD/REMOVE コマンドで、利用可能なグループ数以上のグループ ID を指定しています
組織名不正	UPDATE のときに指定を省略した場合は、設定値を変更しません(CSV では組織名を指定されていない状態にはできません)
役職名不正	UPDATE のときに指定を省略した場合は、設定値を変更しません(CSV では役職名を指定されていない状態にはできません)
その他エラー	システムエラー(管理者に連絡してください)

アップロードしたファイルが大きすぎます。500KB 以下にしてください。	一度に実行できるファイルサイズは 500KB までです。ファイルを分割して 500KB 以下にしてから実行してください
件数超過のため処理できません。ファイルを分割して実行してください。	一度に実行できる処理件数を超過しています。(各操作の処理上限は付録 B を参照ください) ファイルを分割して実行してください
ユーザーの必須グループ数超過	1 つのユーザーに設定できる必須グループ数(8 グループ)を超過しています。
エクスポートするデータが多いため、エクスポートできません。購入元にお問い合わせください。	エクスポートデータが 1000 件を超過しています。上限以上をエクスポートしたい場合は、購入元にお問い合わせください。

## 付録 B グループとユーザー管理の操作上限一覧

### 編集画面での操作

編集対象	操作画面	操作	上限
階層を参照できるユーザー	階層を参照できるユーザーの編集画面	追加/削除	一度の操作で 100 ユーザーまで
階層を編集できるユーザー	階層を編集できるユーザーの編集画面	追加/削除	
グループへの追加ユーザー	グループのユーザーの編集画面	追加/削除 (全て選択/全て削除)	
ユーザーが参加するグループ	グループの編集画面	追加/削除 (全て選択/全て削除)	

※操作上限は追加するユーザー、削除するユーザーの合計数で 100 ユーザーまでです。

例えば、グループ A に所属している 50 人を削除し、別の 51 人を追加する場合、101 ユーザーの操作となるため一度の編集では保存することができません。

※101 ユーザー以上の編集を実行したい場合は、100 ユーザーまでの操作を一度保存してから超過分を再度編集してください。

## CSV での操作

編集対象	操作(コマンド)	上限
ユーザーのインポート	INSERT(追加)、UPDATE(情報の変更)、MOVE(階層の移動)、DELETE(削除)	1 つの CSV ファイルにつき 1000 ユーザーまで
グループのインポート	INSERT(追加)、UPDATE(情報の変更)、MOVE(階層の移動)、DELETE(削除)	1 つの CSV ファイルにつき 1000 グループまで
参加できるグループのインポート	ADD(追加)、REMOVE(削除)、SET_MANDATORY_ON(必須グループ ON)、SET_MANDATORY_OFF(必須グループ OFF)、SET_DEFAULT_ON(デフォルトグループ ON)	1 つの CSV ファイルにつき処理件数 1000 件まで
ユーザーのエクスポート	現在の設定をエクスポートする	1000 ユーザーまで
グループのエクスポート	現在の設定をエクスポートする	1000 グループまで
参加できるグループのエクスポート	現在の設定をエクスポートする	1000 件まで

※「参加できるグループの CSV インポート、エクスポートの上限は、「編集するユーザー数 × 対象のグループ数」の件数が 1000 件までとなります。  
例えば、100 ユーザーを 10 グループに追加する場合、100 ユーザー × 10 グループ=1000 件となり、1 つの CSV ファイルでインポートを実行することができますが、100 ユーザーを 11 グループに追加する場合、100 ユーザー × 11 グループ=1100 件となり、件数超過でエラーが返されます。この場合、CSV ファイルを分割して複数回に分けてインポートを実行してください。

※1000 件以上の CSV ファイルのエクスポートを実行したい場合は、購入元にお問い合わせください。